

# 明日香のたまてばこ



今日は。毎日暑いですね。あまりの暑さに、私も夏バテ気味です。これからが思いやられます。体も何故か緊張が強く、言う事を聞いてくれません。やらなきゃいけない事は沢山あるのですが……。

6月末、麻生総合高校へ社会人講師として、二日間話しに行つて来ました。麻生総合の方には、以前にも何度かお話を頂き、話しに行った事があります。引き受けた限りは、ちゃんと準備をしまとめて話さなければなりません。しかし、何回やってもうまく話せないですよねえ。今回も、時間をかけてレジュメを作り、自分なりに準備をして本番に備えたのですが……。

初日、ロンドのリフト車で高校まで送ってもらう。車の中から、私は緊張でドキドキ。上手く話せるだろうか？そればかり考えていた。高校に到着。いよいよだと思いつつ、緊張は最高潮になっていた。

授業が始まり話し始めると、汗が吹き出て来た。もちろん、県立高校なのでエアコンなんかあるわけがない。窓は開いているが、全然風が通らずかなり暑かった。あまりの緊張

で頭の中が空っぽになってしまった。とりあえず、必死で最後まで話した。時間もギリギリ。生徒からの質問にも上手く答えられず、かなり凹んだ。凹んで落ち込んでいてもしょうがない。今日の反省を二回目に生かそう。

二日目、初日にあまりにも暑かった為、涼しいスタイルでgo！追加資料を付け加え、授業スタート。二日目でも少し慣れたのか、緊張はしていたが落ち着いてできた。時間配分も良い感じ。今回は自分でも満足。わーい！

今回の講演で、人に向けて話す事がいかに難しく大変かを改めて実感しました。サポートして頂いたみなさん、どうもありがとうございました。

鈴木明日香

日本財団の「福祉拠点の整備」福祉施設リフォーム補助金100万円で、サポートセンターロンドをリフォームし、1階の事務室がサロンに生まれ変わりました。



## 編集後記

んーっ？ 何月からだったかな、事務局にかかわらせてもらっています。

夏の家のボランティア募集のお願いに大回りをしたり、川崎市青少年の家に他の団体との調整に行ったり、総会と10周年イベントの裏方と、新しい経験とても楽しませてもらいました。

話しは変わりますが、療育を考える会主催の「夏休みを楽しく過ごす会」をご存知ですか？第一回から関わらせてもらっています。

ながーい夏休み、もてあましていくけど行く場所が……。というとき

申し込みそびれていても大丈夫なのでいらしてください。

(佐藤良子)

# ね療 事務局便り

7月事務局会議

当事者家族：10名    ロンド職員：3名    理事：1名

### ①総会の総括

例年より参加者が多かった。パーティーは好評だった。

②日中生活支援事業検討委員会の立ち上げについて

総会の緊急動議で、松澤さんから提案があった空き店舗を利用した「新規事業の検討」について話し合いました。

7月1日 障害計画課との話し合いの報告を受け、検討委員会を立ち上げることにしました。メンバーは松澤・谷・佐藤です。このことについて関心のある方は、検討委員会

のメンバーに入ってください。

### ③ケアホームの募金について

第10回総会で、身体障害のある人のためのケアホームの建設が来年4月開所まで正式に決まりました。

このケアホームは、大家さんが新築1戸建てホームを建設、ケアホームの事業者としてロンドが賃貸することになります。しかし、身体障害の方のためのホームですから、内装にも十分な配慮が必要で、これは事業者が負担することになっていま

す。川崎市からの補助もありますが、それだけでは賄えきれません。資金の援助が必要です。このホームは入居としての固定した利用だけでなく、体験型の部屋を設け、多くの方が利用できるように考えています。川崎市内で、初めて作る身体障害のある人のケアホーム建設に賛同していただける方に広く募金をお願いすることを検討しました。9月以降、改めて皆さまにお願いすることになると思います。

### ④夏の家について

ボランティアのお願いに、お母さんたちで各大学を回りました。どこも快く引き受けてもらえたそうです。

(谷)

### 相談支援事業…：重心守る会

#### 川崎市相談支援事業再編の実施について

川崎市重症心身障害児(者)を守る会は、川崎市に請願書を提出することになりました。

「川崎市は、来年度から相談支援事業の大幅な見直しを実施するようです」と「はぐるまの会」のお母さんたちから連絡をいただきました。

現在基幹型・地域型併せて36か所ある相談支援センターが22か所になり、今まで利用してきた相談支援センターが使えなくなってしまうことはとても困るというお話でした。

「はぐるまの会」のお母さんたちが川崎市に問い合わせたところ、「具体的に何も決まっていないので説明できる状態にない」という返事だったので、せめてお話を聞かせていただきたいとお願したところ、説明会ではなく話し合いということに二回ほど機会を持たせていただいたが、結局「具体的には何も決まっていない」という話ししか聞けません

でした。

しかし、5月に相談支援事業者向けに配布された実施(案)では方向性から再編計画・予算、移行スケジュールまで示されています。

相談支援は当事者の主訴を聞くためのものと思いますが、川崎市はあくまで「上から目線」で障害者福祉施策を進めようとするなら私たちはまずその姿勢を問わねばならないと思っています。

そのような姿勢では相談支援の基本的考え方に疑問を持たずにいられません。

「具体的には何も決まっていない」と言いながら、川崎市議会で予算を通し実施するようなことがあれば、それは当事者のためのものではなく、川崎市の押しつけ相談支援事業としか言いようがありません。

私たちはそんなことがないよう、相談支援事業に関する請願書を提出することにしました。

詳しくは9月以降のニュースでお知らせしたいと思いますので、ご意見などをお寄せください。よろしくお願します。

(山崎)



# SSKS 療育ねっとわーく川崎

2010年8月20日発行  
No.131 (2800部)  
NPO法人  
療育ねっとわーく川崎  
発行者 江川 文誠  
編集者 谷 みどり

## ボランティアさんが1000人

### 夏の家



Bグループ



Aグループ

- ・レポートを書くために入った図書館で、夏の家の子ラシを目にして応募してこられた18歳の女子学生。
- ・商店街に貼ってあった、夏の家ポスターを見てこられた男性。
- ・社会人大学院の実習先としてこられた男性。
- ・仕事を終えてから、千葉から駆け付けてこられた方。
- ・昨年、インターネットを見て初参加。今年は、ロンドのヘルパーになって参加された男性。
- ・1年生の時、ゼミ仲間であられ、今年は4年目になる学生さんたち。
- ・ボランティアで、音楽も披露してくれた音楽専門学校の学生さん
- ・昨年は中学生で、今年は高校生になって参加
- ・今年で、4年目。夏の年次休暇をすべて、夏の家に参加してくれる若者。
- ・お友だちのボラとしてこられ、今年是一人立ちのボラとしてきてくれた高校生。



Cグループ

- ・重症心身障害児者施設の看護師さんをしていたお二人。
- ・ダンスイベントに参加しそのままボランティアになった学生さん。
- ・重症心身障害児者施設の看護師さん。
- ・養護学校の先生。
- ・介護施設職員。
- ・同愛会の川崎準備室の職員。
- ・ロンドのヘルパーさん。

## 8月号は会員さんのみの発行です。 療育ねっとわーく川崎 でつくるケアホームは どうなるの

前年の総会で、初めてケアホーム検討委員会設置の議題を提出しました。それから1年。今回は、現状でできる限り具体化した案を発表し、設置から運営に向けた実現に至る承認を受ける段階にきました。

Q & A 総会の場で出た質問です。

Q. 通所施設への送迎もホームの方で保障してもらえるのですか？

A. これは本当に悩みどころなのですが、現実的な結論を言ってしまうと、毎日の通所施設への送迎保障をホームですることは非常に難しいです。通所施設に送迎場所をホーム近辺にしてもらえるかお願いし、可能であればそれが1番いいと思います。

Q. 医療的ケアのある方も入居はできるのでしょうか？

A. 医療的ケアのある方のケアホームという案は初めから頭にはありましたが。そこまでできたらいねという強い思いはずっと変わらなず持っています。ただ今この場で発表できることは、療育ねっとわーく川崎の今現在持っている全力でどこまでできるのか：というラインを示すことです。

医療的ケアのある方のホーム入居で課題となってくるのは、やはり医療専門職の配置の度合いとなってくると思います。しかし、診療所や夜間医療体制などを持たないNPOではやはり限界があり、医療体制を365日確保し続ける入居は最初は難しいかなと判断しました。

『医療的ケアのある方のホーム受け入れは難しいだろうか？でも、ニーズがあつて、療育を信頼してくれて預けたいと言ってもらえるのであれば、何とかして期待には応えたいかな？』

と思いましたが。そして、体験利用であれば、事前にきちんと準備を整える時間があれば体制をとることも可能かもしれない：と考えました。

今の時点では、体験利用での受け入れを考えています。

Q. 入居者の月の負担額が高いのでは？

A. できる限り負担は抑えたいのですが、安全と生活のしやすさを立地で検討した結果、家賃負担などによりこの金額設定になりました。

こんな感じの質疑応答でした。十分納得のできる対応ができたかはわかりませんが、とりあえず今の一杯やったつもりです。まだまだ聞きたい事などありましたら、担当までご連絡ください。